



# 福祉のまちづくり体制整備事業 令和7年度実施状況

## <誰もが気軽に立ち寄れる、区役所の交流スペースを使った場づくり> 左京区の「ほっとふらっとさきょう」の取組



左京区地域福祉推進委員会、左京区社会福祉協議会、左京区コミュニティHubの三者で、「“ふくし(ふつうのくらしのしあわせ)”に気付く、出会う」をテーマに、生きづらさを抱えた方、他の居場所に参加しにくい方など、誰もが気軽に立ち寄れる、人と人がつながり、出番が持てる居場所づくりをしたい！との思いで、区役所1階の交流スペースで「ほっとふらっとさきょう」を毎月開催を始めました。



企画時の思い

1

「“ふくし(ふつうのくらしのしあわせ)”に気付く、出会う」をテーマに、生きづらさを抱えた方や他の居場所に参加しにくい方、社会的に孤立している方でも、誰もが気軽に立ち寄れる、人と人がつながり、出番も持てる「居場所」をつくりたい

2

公共性の高い区役所1階の交流スペースで開催すれば、安全で、入りやすい居場所となるのでは

3

社会福祉協議会や左京区役所のネットワークを活かし、地域、関係団体、専門機関など多様な機関と連携し、多様な住民が「ふくし」を意識しながら主体的につながる場としていきたい

各回、「“ふくし”に気付く、出会う」ためのねらいを定めて挑みました。

例えば…

### ■7月開催

乳児検診日に合わせ、子育て世代をターゲットに！ブースでは、ボランティア団体の読み聞かせや、区身連の卓球バレー体験などを実施

### ■9月開催

土曜日の開催にチャレンジ！学生や親子連れをターゲットとし、ブースでは、事業所のeスポーツ体験会や左京図書館による移動図書館・読み聞かせなどを実施

### ▶ 目指した“地域づくり”

ふらっと行ける場、ほっとできる場を通じて、多様な人の「出会いとつながり」、「参加や出番」を生みながら、みんなで“ふくし(ふつうのくらしのしあわせ)”について考えていきたい。



- ふらっと行ける場・ほっとできる場(居場所)
- 相談できる場(重層的支援の間口)
- つながる場(結節点)
- 出番がある場(参加支援)

ほっと  
スペース



落ち着いた雰囲気ですっきりと過ごしていただきながら、気軽に困りごと相談できる等、参加される方がほっとできる空間。

ふらっと  
スペース



参加される方の好きなことや興味のあることをキッカケとして、ふらっと立ち寄ることができる空間。

イベント  
スペース



参加される方の得意なことを発表する場、想いを発信する場、各団体・関係機関の「ふくし」を啓発する場などをきっかけに多様なつながりが生まれる空間。

### 参加団体の声

自分達の取組を知ってもらいたい良い機会になった など

### ▶ 注目した点・きっかけ

近年、複雑化・複合化した課題が増える中、高齢、障害、子ども、生活困窮などの分野を問わず、包括的な支援や取組を強めていく必要があると感じていました。

※地域福祉推進委員会や区役所(区Hubに位置付け)と連携しながら実施